

米国における『原子力発電所の経年化調査団』 緊急報告会のご案内

福島第一原子力発電所の事故を受け、欧州ではストレステストが実施されました。また、米国でもアクシデントマネジメントの再評価が行われました。欧米先進国でのこうした動きは、我が国における原子力発電所の運転再開の是非に関して多大な示唆を与えるとの考えから、日本技術者連盟は2011年から2012年にかけて欧米先進国に3次にわたって調査団を派遣し、規制当局ならびに原子力発電所の関係者と率直な意見交換を行い、各国の状況をつぶさに調査してまいりました。

又、本年4月には『米国における原子力発電所の経年化調査団』を派遣し、多くの成果を得ることが出来ました。わが国の原子力発電所の新規制基準が7月8日に施行決定となりましたが、本調査団の成果は新基準に関しても示唆に富んだものとなっています。

調査報告書は別途刊行いたしますが、今回の調査内容は日本の原子力関係者にとっても極めて有益であるとの考えから、下記の通り緊急報告会を開催することといたしました。尚、『第2次原子力発電所の経年化調査団』を本年10月～12月に予定しておりますので併せてご検討賜ります様、何卒よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 日本技術者連盟

調査団報告セミナー概要

日時：2013年7月29日(月) 13:30～15:30
会場：中央大学駿河台記念館 330教室
東京都千代田区神田駿河台3-11-5
・JR中央・総武線 御茶ノ水駅下車、徒歩3分
・東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅下車、徒歩6分
・東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅下車、徒歩3分

■次第 13:30～13:35 開会の挨拶
13:35～15:00 基調講演



三島 嘉一郎氏
(株式会社原子力安全システム研究所
技術システム研究所 所長
京都大学 名誉教授 工学博士)
①米国原子力発電所の経年化調査総括



永山 統啓氏
(株式会社原子力安全システム研究所
技術システム研究所 原子力情報プロジェクト
主任研究員)
①米国における福島事故対応の状況



堀水 靖氏
(一般社団法人原子力安全推進協会
技術支援部 プラント保全グループ
グループリーダー 部長)
①米国における高経年化対応の状況

15:00～15:25 質疑応答

15:25～15:30 閉会の挨拶

■定員：100名(定員になり次第締め切らせて頂きます)
■参加費 ￥3,500- (消費税込) 事前申込制

参加企業及び報告書作成協力

(順不同)

株式会社原子力安全システム研究所
一般社団法人原子力安全推進協会
三菱電機パワープロダクツ

『原子力発電所の経年化調査団』訪問先

- US Department of Energy (DOE)
:ワシントンDC
- Nuclear Energy Institute(NEI)
:ワシントンDC
- Constellation Nuclear LLC (CENG)
CENG Calvert Cliffs Nuclear Power Plant
:メリーランド州ラスビー
- Electric Power Research Institute (EPRI)
:カリフォルニア州パロアルト
- Pacific Gas and Electric Company (PG&E)
Diablo Canyon Power Plant, unit1
:カリフォルニア州アビラビーチ

お振込先： 銀行名 みずほ銀行 新橋支店
口座番号 普通預金 2338651
口座名 株式会社アジア技術移転機構
カ)アジアギジュツイテンキコウ

■入金確認次第、受講票をご送付致します。
振込手数料は振込ご依頼人様にてご負担願います。

《お問合せ》 一般社団法人 日本技術者連盟 《総合事務局》 株式会社アジア技術移転機構
〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL：03-6229-1946 FAX：03-6229-1940
<http://www.jef-site.or.jp/> <http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html>

参加申込書

以下必要事項をご記入の上、FAX：03-6229-1940 までお申込み下さい。

貴社名/貴団体名		所属学会団体名	
部署名		役職	
お名前		E-mail	
ご住所	〒		
TEL		FAX	